



## カケハシ・プロジェクト派遣プログラムの記録

対象：カケハシ・イノウエ派遣第3陣

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国へ日本の大学生および引率者計25名が派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019年3月10日～3月17日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、学校交流で日本の魅力紹介プレゼンテーション及び実演を行い、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

#### 【参加団体・人数】

熊本大学 計25名

#### 【訪問地】

米国（フロリダ州マイアミ）

### 2. 日程

- 3月10日(日) 【到着】
- 3月11日(月) 【オリエンテーション】
  - 【表敬訪問】在マイアミ日本国総領事館
  - 【企業視察】JUKI アメリカ
  - 【企業視察】いすゞアメリカ
  - 【歓迎会】在マイアミ日本国総領事公邸
- 3月12日(火) 【学校交流①】マイアミ・デイド・カレッジ (InterAmerican Campus)
- 3月13日(水) 【学校交流②】マイアミ・デイド・カレッジ (Wolfson Campus)
- 3月14日(木) 【学校交流③】ガリバー高校
  - 【ワークショップ（報告会準備）】
  - 【視察】アール・デコ地区
- 3月15日(金) 【成果報告会】
  - 【視察】ビスカヤ宮殿
  - 【交流】JET プログラム同窓生
- 3月16日(土) 【出発】
- 3月17日(日) 【帰国】

### 3. プログラム記録写真



3/11【表敬訪問】在マイアミ日本国総領事館



3/11【企業視察】JUKI アメリカ



3/11【歓迎会】在マイアミ日本国総領事公邸



3/12【学校交流①】マイアミ・デイド・カレッジ



3/14【学校交流③】ガリバー高校



3/15【視察】ビスカヤ宮殿

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 大学生

今回のプロジェクトで“diversity:多様性”について感じ、学んだことが多くあります。マイアミは、街並みを見ていて、人々の顔つきから肌の色、髪型まで多種多様であり、そこにまず多様性を感じられました。また、Miami Dade College や Gulliver Schools で学生との交流で、見た目や国籍が違う人々がともに過ごしている姿を見て、マイアミに住む人々は多様性についてかなり寛容、というよりも何も気にすることなく、受け入れているのだと感じました。もはやマイアミの人々にとって“外国人”という感覚は、日本人のそれとは異なるのだらうと思いました。私たち日本人は、地理的にも島国であることも関係しているのか、海外からの観光客などを街中で見ると、“外から来た人”という風にとらえ、その人が来た国によっては珍しいという目で見えてしまいます。また、この傾向により、今話題になっている外国人労働者への対応が問題になっているように、どうも日本人の中には外国人を同等の立場としてとらえることができない人が存在しています。このような世界で生きてきた身として、今回マイアミで見た目や国籍が異なる人々が、何の違和感なく共に過ごしているところを見て、我々日本人の外国人に対する考え方や意図しない感覚に足りないところを痛感しました。今後、特にビジネスなどにおいてグローバルな視点で展開をしていかなければならない時代で、まず見直すべきは我々日本人の日本国外に対する姿勢ではないかと考えます。今回、このプロジェクトでこの気づき得たことは非常に有意義でした。マイアミは、地理的位置から北米における南米の玄関口ともいわれており、多様性が顕著に見られる地域でもありました。マイアミを訪れて本当に良い経験ができたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

##### ◆ 大学生

企業訪問では、JUKI と ISUZU に訪問し各企業の技術力の高さに感心しました。会社の方々からマイアミと日本の違いや、マイアミでの生活状況について伺うことができ、内容に面白さを感じました。このことが日本と海外の関連性について考えるきっかけに繋がりました。学校交流では私は熊本地震の復興状況について英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションの難しさや印象的なプレゼンテーション方法を学ぶことができました。また同時に熊本地震に対する海外の人々の認知度や考えを知ることができたことは、私にとって一番の収穫だったと考えます。この収穫を今後の学校での学びに生かしたいと思います。マイアミ・デイド・カレッジの講義は日本と違って学生と教師のコミュニケーションが活発で、誰もが自由に意見を述べることができる参加型の授業でした。日本の受け身の授業よりも頭をよく使いながら自分自身の考えを持つことができるととても良かったです。また、国民性にも触れる機会がたくさんあり、マイアミの人々はコミュニケーションを積極的にとる人々という印象を持ちました。これらの活動を通して私は日本だけに留まっては決して得ることのできなかつた大きな衝撃、学び、経験を得ることができました。これらを今回だけにとどめるのではなく、今後の学校活動、人生に生かし有意義なものにしたいと思います。

## 5. 受入れ側の感想（抜粋）

### ◆ 学校交流参加学生

プレゼンテーションはそれぞれのトピックについて詳しく説明していて、日本の現在の状況について理解を深めることができました。とても楽しい体験でした。私は日本に行き、より多くを学びたいと思います。



### ◆ 学校交流参加学生

パフォーマンスは私の日本文化についての視野を広げてくれました。様々な種類のアクティビティはアメリカの伝統的なゲームとは異なっていました。学生たちは皆とても素敵な人たちで、話していて面白かったです。

### ◆ 学校交流参加学生

プレゼンテーションはとても素晴らしかったです。よく準備されていて、日本に行きたいとより強く思わせるものでした。また、地震の注意点について多くを学ぶことができましたし、新しい友達を作ることができました。このプログラムは日本文化について学ぶのにとっても良い方法だと感じました。

## 6. 参加者の対外発信

 <p>いいね！8件 kumakakehashi 1日目 3.11 活動① ・在マイアミ日本国総領事館に訪問 在マイアミ日本国総領事館に訪問にて、在領事館の役割、マイアミの基本的な情報、アメリカ合衆国と日本の間におけるマイアミの意義などについて学び</p>	 <p>angiestea.pngさん、他8人が「いいね！」しました kumakakehashi 2日目① 本日は、朝から夕方までマイアミ デイド カレッジ (InterAmerican Campus)に訪問しました。カレッジ内では、午前中にアイデンティティに関する討論、キャンパスツアー、サルサレッスンをし、中庭で昼食を食べて、午後にはアイデンティティに関するさらに深い討論、熊大生によるプレゼン発表を行いました。アイデンティティに関する討論では、外国にルーツを持たない日本人学生に対し、中南米から多くの人種が集うマイアミの大学生と比較する上で、互いのアイデンティティを識別する際に差異が起こることがわかりました。これは、確かに、仕方ないことであると思いますが、実際の討論でも、日本人学生からすると考えたこともない概念であったため、マイアミの大学生の持っている意見そのものが新鮮に思えました。</p>
<p>表敬訪問についての発信 (Instagram) 1日目 3.11 活動① 在マイアミ日本国総領事館に訪問にて、在領事館の役割、マイアミの基本的な情報、アメリカ合衆国と日本の間におけるマイアミの意義などについて学びました。また、質疑応答の時間では、海外で働くことについての貴重なお話を聞くことができました。</p>	<p>学校交流①についての発信 (Instagram) 本日は、朝から夕方までマイアミ デイド カレッジ (InterAmerican Campus)に訪問しました。カレッジ内では、午前中にアイデンティティに関する討論、キャンパスツアー、サルサレッスンをし、中庭で昼食を食べて、午後にはアイデンティティに関するさらに深い討論、熊大生によるプレゼン発表を行いました。アイデンティティに関する討論では、外国にルーツを持たない日本人学生に対し、中南米から多くの人種が集うマイアミの大学生と比較する上で、互いのアイデンティティを識別する際に差異が起こることがわかりました。これは、確かに、仕方ないことであると思いますが、実際の討論でも、日本人学生からすると考えたこともない概念であったため、マイアミの大学生の持っている意見そのものが新鮮に思えました。</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p><b>STEP 1 To keep in touch with MDC</b></p> <p>① Skype meeting      ② buddy system to support learning languages</p> 	<p><b>STEP 2 To keep on spreading information continuously</b></p> <p>① Share with Social Media</p> 
<p><b>アクション・プランの発表 1</b>  <b>【マイアミ・デイド・カレッジの学生とのサポート関係を気づく】</b>          マイアミ・デイド・カレッジの学生との関係を今後継続していくため、相互の交流・サポート関係を築く必要がある。Skype などを使って、英語、日本語でコミュニケーションを取ったり、英文・和文の添削を行うことで、互いの言語学習に役立てる。Skype では、カケハシ・プロジェクトで学んだことや気づきの共有や、意見交換を行うことで、互いの理解を深めることができる。</p>	<p><b>アクション・プランの発表 2</b>  <b>【継続的な情報発信を行っていく】</b>          帰国後の活動やマイアミでの気づきを SNS を活用して継続的に発信していく。大学間だけでなく、世界に向けてカケハシの活動、日本やアメリカの魅力を広めていく。また一方で、オフラインでの情報発信として、熊本大学にてカケハシ・プロジェクトの写真展覧会を行う。熊本大学生を中心に、近隣の住民の方々にもカケハシ・プロジェクトの活動を知ってもらおう。さらに、写真展覧会参加者と一緒に、サルサダンスを踊り、マイアミの伝統的なダンスを知ってもらおう。</p>